



福岡市佐賀県人会会報



い草の植え付け 三根町

目次

表紙	三根町 い草の植え付け	2~3
新春懇親会		4
世界・焔の博覧会について	佐賀県 井本勇知事	4
ふるさとの首長・ふるさと紹介	三根町 中山孝徳町長	5
活躍する佐賀県人たち	遠賀・中間医師会長 堤成基さん	6
ふるさと会・同窓会	佐賀西高校 福岡同窓会	7
このごろ私は	増田守さん、田中邦房さん、岡那江さん、江頭太郎さん	8~9
Welcome to SAGA		9
佐賀県だより		10~11
最近の入会者名簿・編集デスク		12

34

1997. 2

新年にあたりまして、粗辞ではございますが、念頭のご挨拶にかえさせて戴きます。ありがとうございます。」

この県人会も、皆様のお力を借りながら益々発展して行くことを切に願う訳でございます。

同様に、最近、国内だけで済んだ問題も近隣のアジア諸国を無視しては語れません。経済発展も相互交流がなければこれも実現致しません。

この会が皆さんのお力で存続いたしますのも、やはり福岡と佐賀の密接な関係があれこそで、今後九州が国際的にもアピールできる様になつて行くために両県の益々の発展を熱望する訳でございます。

従いまして、この勢いを借りて、益々福岡も発展して戴き、それに伴って佐賀県も発展して戴きたいと思う次第でございます。

ります。中央に行きますと良く「福岡だけが、なんであるに活気があるのか」と言われますが、今までは人口の割りに、福岡は炭坑がダメになつて以来、長らく落ち込んでおりましたが、今では一番活気のある都市ではないかと評価されております。

その中で、今村、原口両氏により当選のお礼と今後の抱負についての報告があり、続いて中村事務局長より、特に

（代理）の六氏衆議院議員と参議院議員の陣内孝雄氏（代理）、そして県議会より武藤英治、古川忠の二氏、さらに市議会より川上義之、南原茂の二氏が紹介され、また昨年の「ほのお博」の事務局を代表して、局次長の中村孝氏と局課長の記伊一幸氏が、そして最後に、福岡市長代理として南里兼儀氏が紹介されました。

前売り券の販売協力に対するお礼と福岡、長崎の連携により入場者数が二百五十五万人を突破した報告がありました。そして、市長代理の南里氏より、「大成功したイベントの実績をこれからの町づくりに生かして欲しい。そしてさらに、益金を基に設立された基金事業に注目したい。」と言う、桑原市長の言葉が代読され、会場のあちこちでうなずきあっていました。

さて、来賓の挨拶が終わった所で、小松理事から祝電の披露があり、そして待望の乾杯へ移りました。

指山副会長の音頭で、今日の寒さに負けじと元気のいいかけ声で乾杯が始まり、饗宴

の幕が開きました。十八卓準備されたテーブルには地区分けした席札があつてそれぞれ出身地別になつてゐるのですが、乾杯が終わった途端、半年振りの再会に地区を越えた笑顔の輪がそこかしこに出来上がっていました。

今回は、新人会員の出席も多く、それもあってか会場のあちこちで、例年にも増して恒例の名刺交換が行われていました。

又、他のテーブルでは、昨年の十月十三日に閉幕した「ほのお博」の苦勞話を中村事務局次長より聞かされて、改めて「本当に、成功して良かったなあ」と言う、ため息にも似た声が聞こえて来ました。

さて、そろそろ中締めの間です。六月の総会での再会を約束して無津呂副会長の万歳三唱で閉幕となりました。

な今回、天山酒造様より大吟醸「話華蘭」をご提供戴きました。感謝致します。

（水間 記）



福岡市佐賀県人会新春懇親会



福岡市佐賀県人会新春懇親会

福岡市佐賀県人会新春懇親会

福岡市佐賀県人会新春懇親会

平成9年 福岡市佐賀県人会新春懇親会

平成9年1月24日

平和楼本店

早咲きの菜の花の便りに、多少の戸惑いを覚えながらも春なお浅い早春の一月二十四日、天神の平和楼本店で福岡市佐賀県人会新春懇親会が開催されました。



金子会長 年頭の挨拶

定刻、例年通り井上理事の軽妙洒落な司会で新春懇親会の幕が開き、まず、筒井副会長から「本日の参加のお礼と、昨年のほのお博協力の謝辞」があり、そのあと開会宣言が行なわれ続いて金子会長の念頭の挨拶となりました。

さて昨年は、佐賀県は非常に活気のある年でございました。ほのお博を始め致しまして、パルーンフェスタなど佐賀県を日本全国のみならずある意味で世界の中にも佐賀県ここにあり、という様なことでアピールした訳でございますが、これが一過性のものとして終わらせないようにしなければなりません。

す。例年、この一月と六月の総会で年二回開催している訳でございますが、大体この一月に開催致します時は、いつも寒うございまして、数年前は雪が降ったのを覚えております。又、現在、五百三十名の会員の皆様がおられますが、最近では若い方やご婦人の方もお入りいただいて、県人会が年々盛大に開催されていきますことを感謝申し上げます。

その為には、やはり我々がおります福岡県が、佐賀と一体になってPRすることも、大切な事じゃないかと思われまふ。特に、昨年のほのお博の時は福岡経由で有田に向かれた方が相当数いらっしゃいました。交通アクセスが非常に悪いという不評を耳に致しましたし、又、交通混雑でインターチェンジを降りて、真夏の酷暑の中、一時間もかかったと聞いております。

代表理事	田中秀男	副会長	金子宜嗣
常任理事	田中秀男	会長	筒井寅吉
理事	田中秀男	副会長	辻長英
理事	田中秀男	副会長	森泉
理事	田中秀男	副会長	指山弘養
理事	田中秀男	副会長	無津呂繁美
理事	田中秀男	副会長	原進
理事	田中秀男	副会長	太田勇吉
理事	田中秀男	副会長	山下廣人
理事	田中秀男	副会長	田中則雄
理事	田中秀男	副会長	上川正直
理事	田中秀男	副会長	井上浩輔
理事	田中秀男	副会長	沢村利次
理事	田中秀男	副会長	小松省己
理事	田中秀男	副会長	落合良太
理事	田中秀男	副会長	水間繁俊
理事	田中秀男	副会長	前田文敏
理事	田中秀男	副会長	清村克行
理事	田中秀男	副会長	古賀利治
理事	田中秀男	副会長	久保悦次



福岡市佐賀県人会新春懇親会

福岡市佐賀県人会新春懇親会

福岡市佐賀県人会新春懇親会

福岡市佐賀県人会新春懇親会

きが始まりました。今回は超目玉賞品を作ろうと、九郵便光サービスの山下理事にお願いして「老岐一泊二日ペア旅行クーポン券」を割安で提供して戴き、会長賞として金子会長に引いてもらい、佐賀銀行福岡本部の谷崎さんが見事金的を射止められました。

他にもテレビやラジカセ・電子手帳などが、次々と当たるたびに会場内は騒然となり、そしてため息に変わってゆきました。

さて、そろそろ中締めの間です。六月の総会での再会を約束して無津呂副会長の万歳三唱で閉幕となりました。

な今回、天山酒造様より大吟醸「話華蘭」をご提供戴きました。感謝致します。

（水間 記）

（水間 記）



福岡市佐賀県人会新春懇親会

福岡市佐賀県人会新春懇親会

我町は、筑紫次郎とも呼ばれる筑後川の恩恵を受けながら、独特のクリーク文化を育んできました。

昭和三十年四月の三根村誕生から、はや四十一年の歳月が経ち、その間に土地基盤整備、農村環境改善センター、河川敷ゴルフ場三根カントリーの完成等、農業を基幹として、自然と産業と文化が調和する町として歩いてきました。

二十一世紀に向い変動する社会情勢のなかで「物から心」への志向がより強まり「心の豊かさ」を供与する生活環境の整備や人々の意識・ニーズをいかに捉えていくかが重要になると思われます。

私達の町的生活環境も、生活様式の変化により都市化が進み、生活排水の流入により

自然を生かす



三根町 中山 孝徳 町長

クリークの汚染が一段と進んでまいりました。

この対策のために、今年度より特定環境保全公共下水道と、農業集落排水事業を取組んでいます。又、圃場整備事業により、環境機能を併せ持っていたクリークが統廃合され、昔のような風情は見られなくなっています。そこで、地域の特性を生かし、水と緑が一体となった水辺の公園や、水との触れあいによるコミュニケーションの場を創造しているところでもあります。

これから、静かで落ち着いた自然と共に「住みたい町づくり」を、町民と相協調し、三根町が「住みたい町」として、大きく躍進するよう着実に推進してまいりたいと思っています。



親水公園

えられ、水際は、白い自然石風のブロックを積んで整備されている。藤棚やあずまや風の休憩所にはベンチなどがあり、散歩のひと休みに最適、春から秋にかけてカヌー遊びやフナ釣りを楽しむ人も多い。

本町の基幹産業は農業で、米麦を中心として行なわれており、特産はイ草・苺・アスパラ等がある。又、筑後川を望む茂安公記念碑横に、毎週土・日曜に開設される三根の朝市があり、とれたてのアスパラガスや、ナス・サツマイモ等があり、シーズン中には朝摘みできた苺も店頭に並び、久留米市などの都市部をひかえ、野菜栽培も盛んである。

土産ものでは、老舗の銀月饅頭と六田の旭豆が人気である。

いま三根町では、21世紀に向かつて快適な環境のなかで、物心ともに豊かな生活を送れる様「自然と産業が調和した文化的でゆとりのある田園都市」を将来像に掲げ、下水道、住宅団地、企業誘致を重点事業として「活気に満ちた町づくり」を目指し、住民参加による郷土づくりに取り組んでいる。

ふるさと紹介 三根町

三根町は、佐賀県の東部に位置し、筑後川をはさんで福岡県久留米市・三潅町・城島町と接している。町の中央には国道264号線が東西に走り、佐賀市と久留米市を結んで町の動脈的な役割を果たしている。

カントリークラブがあり9ホールのコースはどれも特徴的である。8番ホールは、水門越えコース、星のパンカーに三日月のグリーンがある9番ホールなど、楽しみながら回ることが出来る。また、田園風景の中に三ヶ所の親水公園がある。レンガ色の歩道に桜が植

世界・焔の博覧会への御支援・ご協力ありがとうございました

世界・焔の博覧会実行委員会

会長 佐賀県知事 井本 勇



昨年七月十九日から十月十三日までの八十七日間にわたって開催しました「世界・焔の博覧会」は、お陰様で、国内外から二百五十五万人を超える方々に御来場いただき、好評のうちにも幕を閉じることができました。

これもひとえに、福岡市佐賀県人会の会長並びに会員の皆様方をはじめ、多くの関係者の方々御支援と御協力の賜物と心から感謝を申し上げます。

目標の二倍を超える二百五十五万人の入場者数を記録したことは、全国への話題として「佐賀県はすごい」ということを伝えることができ、特に県外から訪れた方には、佐賀の「人」「自然」「技術」に接して新たな魅力を感じていただいたものと思います。

また、県民総参加のもと、心をひとつにして博覧会

民意の高揚、産業や文化の面での新たな結びつきや交流の広がり、そして北部九州三県の連携の強化など幅広い分野にわたって様々な開催効果が生まれました。

このような効果を一過性のものに終わらせず、五年十年後に改めて世界焔博は素晴らしいものを残してくれたと言われるよう博覧会開催の効果を県勢発展のために十分活用して行かなければならないと考えております。

世界焔博から生まれた「人の情熱」「文化創造」「産業発展」のそれぞれの火が文字どおり「焔」と燃えるように、二十一世紀に飛躍する新しい「佐賀県」の創造、そして「住みたい県日本一づくり」の実現に向けて、心を新たに、一層の努力をしてまいりる所存であります。

今後とも、更なる御支援・御指導を賜りますようお願い申し上げます。



に取り組み、県民の皆様にも佐賀県の良さを再認識していただき「小さな県でもこれだけのことができるんだ」という大きな誇りと自信が植えつけられたものと確信しております。

この博覧会によって、佐賀県のイメージアップ、県

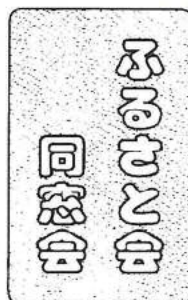
NEW
CARINA
誕生 THE SPORTY HEART

福岡トヨタ自動車

本社 〒810 福岡市中央区渡辺通4丁目8-28 ☎092・761・3331



写真は、1.8Si Gセレクション装着車。ボディカラーは、ダークブルー・マイカメタリック（8L2）



5年ぶりの仲間の輪

佐賀西高校 福岡同窓会

福岡栄城会（佐賀中学、佐賀高校、佐賀西高校三校合同の同窓会）と一本化して、はや5年を経過した。合同になったのを機に、西高福岡同窓会は、福岡栄城会に参加すること、単独の開催は中止となった。しかし、福岡栄城会への西高生の参加者は、毎回20〜30名程度で、寂しいものだった。実質的には、同窓会としての活動は何もしていなかったのです。

一昨年の福岡栄城会のあと、東京からもどった、永倉理一郎君（11回生・佐電工福岡支店勤務）より、『先輩、西高だけでもやりましょう』と、言われ、事務局長として、ハッ

トさせられた。

やはり同窓会は、毎年開催されているからこそ、その存在価値があることを教えられたようで、とても恥ずかしい思いでした。

早速、各卒業回期毎の幹事（世話人）を新ためて選任し、幹事会を開きました。生き生きとした後輩たちの顔を見、声を聞きながら、何かしら喜びを感じました。少しづつかも知れないが、「会が動いている」ことの大切さを知りました。三回の幹事会で内容を決め、平成8年6月7日（金）、5年ぶりの福岡同窓会を開催することができたのです。会場となった天神平和楼に

は、久しぶりに友好を深め合う『栄城っ子』が百名をこえ、ワイワイガヤガヤの大盛会でした。各回期の幹事たちも、名簿の整備、会場の企画、ハガキの発送と出欠のまとめ等々、コマゴマした作業を共同でする中に、先輩と後輩、同じ回期の仲間同士の「連帯」が生まれてきたようでした。「やって良かった」と思いました。

卒業30周年記念式典

ところで、この栄城会には、おもしろい伝統がある。それは、高校卒業後30年目に記念のイベントを開催している。今年は、昭和42年卒（2回生）の私達の番となった。3日間を通して一大イベントである。

・9月13日（土）
ゴルフ大会・前夜祭（ファースト・ナイト）

・9月14日（日）
バルーン係留・模擬授業
記念講演・式典・懇親会

・9月15日（月）
ミニ修学旅行
ボーリング大会 等々
約百名の実行委員会を組織し、「卒業30周年記念式典」を、母校の校舎やグラウンド、

会員・支部の動向を ご連絡ください

人事異動や慶弔行事、親ばくの集いいろいろあっていることだと思います。

掲載期日がおくれるので、ご不満はあるかと思いますが、会員相互の消息を知りあうためにも、ぜひ、連絡をお願いいたします。

また、地元や職場でももしろいニュースがあったときもお知らせください。楽しい紙面づくりのために協力をお願いいたします。

このほか、ふるさと佐賀県について、「こんなことが知りたい」という希望も事務局までご一報ください。紙面に特集いたします。

会員の作品を お待ちしております

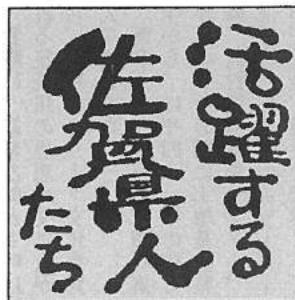
「会報むつごろ」の紙面を通じて、相互交流を深めましょう。

創作、随想、釣り自慢、紀行文、短歌、俳句、子供たちの作品、サークルの発表会、なんでも歓迎しています。

投稿作品には、テーマ住所・氏名・年齢・職業（学校・学年）出身地を記入してください。

入会の勧め

県人会では毎年恒例の行事として、年度総会および懇親会を催し、会員の親睦、交流を図っています。また会員には年二回発行の「会報むつごろ」をお届けします。未加入者にお届けします。未加入者には入会を勧めます。入会あるいは紹介の問い合わせは、県人会事務局へどうぞ。



遠賀・中間医師会
会長 堤 成基さん



遠賀・中間医師会会長としての活躍の、堤成基さんを岡垣町の堤病院にお訪ねした。福岡で活躍する佐賀県人たちの話をと、クラスメートに連絡をお願いしたもので、お仕事や、経歴、能の演者として博く知られる、その演歴などお伺いし、まとめてみた。堤氏は「佐賀は、中学・高校時代だけだったが、わが故郷。祖先は立派な佐賀藩士。佐賀

学科卒業。精神神経科教室に研究を重ねたのち、昭和四十年に岡垣町に堤病院を開業して独立。これが今日の堤病院となったものである。医療経営の伸展をみると、岡垣町の堤病院に次いで、四十六年に堤小倉病院（北九州市小倉南区）、五十一年に泰平老人病院（須恵町）を開設し、後にそれぞれに老人保健施設「永寿苑」「博慈苑」を

地域社会の信頼とあって、増々の発展となっている。堤氏は、趣味も多



道成寺 堤 成基

二年に謡曲・皆伝格、観世流名譽師範を許されている。これまでに演能は息子（子方）と共に演じた「隅田川」や「望月」。重習の「道成寺」「安宅」「求麻」「砦」など十八番を勤めた。

賞を受賞している。また、囲碁では日本棋院六段の腕前。クルージングや海外旅行など趣味の多さと、活動に感心。医療に対する抱負や、芸術活動の話を聞きながら、また項を新ためて紹介したいと強く感じた。堤氏の今後の益々のご活躍を念じ、県人会への力ぞえをお願いしたいと思います。

住所
出身地 佐賀市出身
年令 六十四才
TEL



人集るところに昭和
信頼におたえすべく、努力を続けて47年

福岡昭和タクシー株式会社

代表取締役社長 金子宜嗣

〒810 福岡市中央区渡辺通2丁目4番1号
☎092-761-2171(代) FAX092-734-4884

この水画展(個)展を前原市の伊都郷土美術館で開きます。去る九月、「シルクロードスケッチの旅」で取材したものや「おくのほそ道」など文学に関連したものを約四十点を展示します。ご都合がございましたら、ごらん下されば幸いです。

また、四月からNHK福岡文化センターで「画巻・おくのほそ道を作る」講座を開始する予定です。



水墨画一筋

江頭太郎さん

現在、NHK福岡文化センターほか数カ所で水墨画の講師をしています。毎月、約二百名の方のお相手をさせてもらっています。

来る一月二十一日(火)から二十六日(日)まで第十五

このように、私の生活は水墨画に明け暮れています。ありがたいことです。

こんなことになったのは、昭和五十一年三月、福岡市の小学校長を定年退職し、日系日本画家石田耕古先生に日本画を習うことになったのがきっかけでした。その後、水墨画の魅力に取りつかれ、昭和五十六年十月、「江墨会(初めは福岡水墨の会)」を創設し本格的に取り組むことになりました。

電話



会員・支部の動向をご連絡ください。人事異動や慶弔行事、親睦の集い、いろいろあっていることだと思えます。

掲載期日がおくれるので、ご不満はあるかと思いますが、会員相互の消息を知りあうためにも、ぜひ、連絡をお願いいたします。

Welcome to SAGA

佐賀の山に親しむイベント・お祭りのご紹介

5月 中旬 ニジマス釣り大会(七山村)
ニジマス釣り、ニジマスつかみ取り大会、バザーなどが行われる。

6月 上旬 見帰りの滝あじさい祭り(相知町)
九州一の飛ぶくを誇る見帰りの滝周辺のあじさい園でコンサートや俳句大会、スケッチ大会、フォトコンテストなどが行われる。

下旬 川開き式典ひゃあらんさん祭り(大和町)
九州の嵐山と称される川上峡河野与止日女神社で、水のシーズンを前に、水の神様を祭り、子供たちを水難から守る川祭りが行われる。

7月 1日 作礼山山開き(厳木町)
作礼山山頂で登山者の安全と五穀豊穡を祈願する。

10日 脊振山山開き(脊振村)
登山者の安全を祈願して神事が行われる。

中旬 大川内山キャンプ場開き(伊万里市)
中山キャンプ場開き(太良町)

下旬 奥平谷キャンプ場開き(鹿島市)

下旬 きゅうらぎ川あゆまつり(厳木町)
厳木川の川原で炭火で焼いたアユやヤマメが用意される。また、アユやヤマメのつかみどり大会、ラムネの早飲み、そうめん早食いなどもある。

8月 上旬 昆虫スタンプラリー(富士町)
北山湖周辺の自然に親しみ、そのすばらしさを多くの人たちに知ってもらうラリー。

上旬 櫻原まつり(七山村)
櫻原湿原内でコイのつかみ取りや農産物などの販売が行われる。

上旬 北山湖祭り(富士町、三瀬村)
舞踊などのアトラクションや花火大会などが行われる。

第3日曜日 国際溪流滝のぼりinななやま(七山村)
観音の滝下流の渓谷を、白い水しぶきとともに上り、観音の滝で折り返し、出発点の村民センターまで戻る過酷なもの。外国人の参加も多い。

2月 上旬 乙文珠宮合格祈願祭(大和町)
一年分の祈願のお払いなどが行われる。

11日～3月中旬 観梅まつり(武雄市)
御船ヶ丘梅林の梅の開花時期(2月下旬～3月上旬)に合わせ、各種催し物を行う。

下旬 お不動尊まつり(北方町)
素足で火の上を渡り、一年間の家内安全、無病息災を祈る。

3月 下旬 百手祭(富士町)
破魔と年占いの意味を兼ねた神事。

下旬～4月上旬 さくらの里(有明町)
桜の花咲く季節になると、林道深瀬浦平線沿いに植えられた約650本の桜が咲き乱れ、たくさんのお客でにぎわう。

下旬～4月上旬 桜まつり(鹿島市)
文久2年(1862年)13代鍋島直彬が多くの桜を植え「衆楽園」と名付け、毎春、藩内の人々を慰めるため、観桜のうたげを開いて楽しんだことに由来。県下三大桜の名所である。

4月 1日～5日 春の窯元市(伊万里市)
秘窯の里・大川内山の窯元約30軒による窯元市

5日 お山さん祭り(塩田町)
五箇田吉浦釜釜山に鎮座する、鍋島甲斐守直澄公を祭る吉浦神社で、面浮立、郷土芸能、踊りなどがある。桜の季節でもあり、参拝する人が多い。

中旬 百万遍(富士町)
流行病予防を祈願するまつり。高野岳奥の院に集まり、円座をつくって大きな数珠を横に回しながら「なんまいだ」を唱える。

中旬 黒髪山山開き(山内町)
大蛇伝説なども残されている神秘の山の山開き。

このごろ 私は

同窓会支部会長を

ひきうけて

増田 守さん



昨年、私の母校、武雄高校同窓会福岡支部の支部会長をお引きうけいたしました。世話ごとをあまり得意としないもので、かえって迷惑になりはしないかと思いましたが、年の順ということでもあり、一念発起頑張ってみることにしました。

同窓会は、旧制中学校、女学校、高校の卒業生で構成さ

れており、現在名簿に記載されている福岡県内在住の会員は二千名余にのぼります。

毎年六月上旬に母校の先生を招き、定期総会を開催いたします。久方ぶりの再会を喜びあい、杯を酌み交わし、話に花が咲いている光景はいいものです。ゴルフ同好会ふね会を年に四回程度行います。また、昨年は森の博覧学にバスツアーを実施しました。

悩みの種は、会の催しへの参加者が増えないことです。同窓という共通の絆で、特段に利害を気にせずむつきあいも大切なことではないでしょうか。多くの方に積極的に参加いただければと思っています。

会の発展のため、幹事諸氏ともども頑張っていきたいと思っています。

増田耳鼻咽喉科



二十日会(南地区親睦会)との縁

田中邦房さん

一期一会と言う言葉が適当かどうか判りませんが、御客様の会合で黒田屋を御利用頂く年月が、早十五、六年にも及び有難い事だと思っております。

又偶然にも佐賀県人会、(二十日会)、という事で佐賀出身の私共は尚一層身近に感じられたものです。

会員の方も月毎に増え益々盛会となり奥様同伴もお出になります。初めからの御客様も三・四人はおられ、仲々楽しい集まりとなっております。

新しい年に替り皆様の御健康と御繁栄を念じ、当店も御客様の御希望に添うべくサービス向上に努めたいと思っております。



「うなぎの 黒田屋店主」

岡 耶江さん



れるとこのようですが、そんな雰囲気私店の店の中に満ちあふれていると思いませんか。

気楽に腰をかけていただき

ふりかえれば私は福岡に参りまして今年で20年、県人会に参加させて頂くようになって13年になります。その間に中洲に小さな店をもつて、もう15年になりました。

そこで昨年暮れこれをひとつの区切り、常々もっと早いうちからもっと長い時間皆さまとふれあいの時をもちたいと、以前から暖めていた計画の食事として頂ける店を開きました。料理を囲んで語りあえれば、一層なごやかな気分になって頂けると思っています。

店名は、唐代に有名な趙州禅師の言葉から頂いて「旬菜 喫茶去」としました。禅の厳しい修行が極限に達したそのとき、喫茶去(お茶にしましう)の一言はさわやかでホッとした安らぎを覚えさせてくれます。



中洲丸瀬ビル36 5F
電話(二七二)六三二五
中原町出身)

月刊『佐賀文化』創刊

総合文化誌『佐賀文化』（佐賀文化懇話会発行、河村健太郎編集）が六月に創刊された。『新郷土』廃刊のあと久しく待たれた地元総誌だけに、息の長い活動に期待が集まっている。

創刊号の内容は「だから耶馬台国は九州」（高島忠平県文化課長）、「佐賀と近代日本の形成」（M・B・ジャンセン米プリンストン大教授）の論文を中心に、県民オペラ「赤給まんたら」特集から文章教室まで盛りだくさん。

河村編集人は前佐賀新聞論説委員長（元直木賞候補作家）で、「あくまで月刊にこだわらる。継続こそ文化雑誌の基本と思う。だれでも執筆できるし、文化団体には無料でペー지를提供する」と強調している。定価千二百円。問い合わせは電話0952（33）1599。

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

皇太子ご夫妻が
初来県

皇太子ご夫妻は七月二十三日、第三十二回献血運動推進全国大会出席と地方事情視察のため、初めて佐賀県を公式訪問された。

ご夫妻は県赤十字血液センターで、四百名の献血者の割合が全国六位を誇る県内の献血状況に説明を受けたあと、血液検査などの様子を熱心に視察。デイケアの老人保険施設「メイプルハウス」ではお年寄りを激励された。

「世界・焔博」が開幕

佐野記念館ではパネルや展示品を通じて佐野常民の人物や功績をしのび、「進徳修行」（学業を修め、仕事に精励するとともに思いやりの徳の心を持つ）と書かれた額の前では立ち止まってご覧になられた。



お年寄りの風船バレーをご覧になる
皇太子ご夫妻



雨の開幕にもかかわらず多くの
人たちが入場＝有田メーン会場

佐賀市立図書館が開館

四十万冊の蔵書能力とハイビジョンなどの最新設備を備えた佐賀市立図書館が八月八日、同市天神の「どんどん」の森にオープンした。

同図書館は地下一階・地上三階建て。延べ床面積九千五百平方メートル。当面、一般、児童図書十五万冊でスタート。将来は四十万冊を所蔵する予定。

原口、今村、保利氏
当選

一方で、ビデオ、CD、絵画などの貸し出しにも応じるほか、ハイビジョン施設やインターネット施設も完備。生涯学習の拠点としての機能も期待されている。総事業費は約六十三億円。

開館式典で西村市長が「市民とともに成長していく図書館に」と、また、千葉治館長が「森林浴のようにブックシャワー（本浴）に足を運び、図書館を使いこなしてほしい」とあいさつした。

焔博が
大盛況裡に閉幕

「燃えて未来」をテーマに、八十七日間わたって繰り広

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

バルーン大会に
88万人

晩秋の佐賀平野にカラフルなバルーンが舞う「96佐賀インターナショナル・バルーンフェスタ」が十一月二十〜二十四日、佐賀市の嘉瀬川河川敷で行われた。今年世界七十九国・地域から百二十七機（競技飛行は百五機）のバルーンが参加した。九七年佐賀で開



けられた「世界・焔（ほのお）の博覧会」は十月十三日、盛況のうちに閉幕した。入場者数は有田メーン、九州陶磁文化館、吉野ヶ里の三会場の合計が二百五十五万八千八百五十五人を記録。目標だった百二十万人を大幅に上回った。同博覧会委員会会長の井本知事は閉会式のあいさつで「全国、世界へ向けた情報発信と佐賀のイメージアップに大きな役割を果たした」と締めくくった。

宇宙科学館年内に着工

井本知事が新春一月六日、武雄市に建設を予定している「宇宙科学館」（仮称）について「年内に着工したい」と発表した。青少年を対象とした県内最初の科学体験施設で、完成は二、三年後になる見通し。

「宇宙科学館」は武雄市が整備を進めている武雄温泉保養村内に計画されている。施設の敷地は約一万平方メートルで、延べ床面積は八千三百平方メートル。基本計画では最上階に直径十八メートルのプラネタリウムを設置するほか、口径二十センチの天体望遠鏡を配備。また、宇宙旅行の模擬体験ができる宇宙船シミュレーションや、マイナスイオン度の世界をつくり出す特殊環境体験室など科学技術の粋を集めた施設を想定している。

本欄のニュース、写真はすべて佐賀新聞社から提供いただきました。

福岡市佐賀県人会 最近の入会者名簿

氏 名	〒	住 所 (自 宅)	電話番号	職 業・勤務先	出身地
西 山 一 正	810			東急建設(株)	佐 賀 市
無津呂半三郎	814-01			東急建設(株)	富 士 町
岩 石 哲 郎	819			東急建設(株)	有 明 町
木 塚 厚 孝	842			東急建設(株)	神 埼 町
林 谷 誠	810			アリコジャパン	嬉 野 町
古 川 寿 寛	812			(株)AHS	富 士 町
西 邦 彦	819-03			—	富 士 町
古 川 弘 子	812			—	佐 賀 市
野 口 賢 治	815			(株)ガイア建設	北茂安町
笠 継 泰 雄	814-01			八木アンテナ(株)	鹿 島 市
平 尾 文 裕	811-02			ビッグハーツコーポレーション	佐 賀 市
福 富 淳 司	810			(株)石橋建設事務所	佐 賀 市
弓 敏	819-03			キャプテンユーエスエイ(株)	北茂安町

会報むつごろ

平成9年2月25日 発行
 福岡市佐賀県人会
 (発行責任者 田中 秀男)
 福岡市中央区大手門2-3-7
 昭和商事石油株式会社
 ☎ 092-714-3111
 製作 (有) タナカ製本印刷所
 ☎ 0955-23-5214

明けておめでとうござ
 います。ふるさと佐賀の世界・
 森の博覧会の成功により、佐
 賀の心意気を示すことが出来
 喜ばしい限りです。新しい年
 の益々の発展を祈ります。
 「むつごろ」も、この生ま
 れ変わろうとする佐賀の力を
 受けつぎ会員相互の連携を深
 め、より楽しく明るい県人会
 の機関紙であるよう委員一同
 心をこめて制作して参ります
 会員皆様のより一層の御協力
 をお願いいたします。
 「佐賀県だより」の記事・
 写真については、佐賀新聞社
 さんから提供、協力いただき
 ました。ありがとうございます
 (T)

編集デスク

乗りたい時、乗りたいクルマ。

お問合せはレンタカー ☎ (0120)-489-446(無料)

カーリース ☎ (092)-461-0100

トヨタレンタリース福岡

〒816 福岡市博多区東光寺町1丁目1番1号